

経営課題を解決

IRC

情報
提供

人材
育成

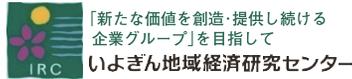
経営
支援

(IRC会員募集中)

会員の方は各種サービスをご利用できます



※調査月報(発刊済)の無料送付も受付中



長期間使用しているエレベーターはリニューアルしたほうがよいの？



エレベーターには寿命があります。早めの対応が◎！
ご予算・ご要望に応じたプランをご提案します！

創業44年 エレベーターの保守・改修工事
愛媛メンテナンス株式会社

感動を、けずりだそう。

マルトモ

プレミアムなかつお節といえば「フレ節」です。

プレミアム Dried bonito

TEL 799-3192 愛媛県伊予市米浜1696番地 URL https://www.marutomoto.co.jp

週刊

1973年創刊

阿ることなく・恐れることなく 愛媛経済レポート

2025年(令和7年) 7月28日号 第2455号

藤井組

下灘駅を堪能する宿泊施設

＝徒歩1分の好立地、土産店に併設＝



施設名は「下灘住宅別館」。

建物は築40年で、木造2階建て、延床面積約140平方メートル。内装には本業で

備のため、敷地内の木を伐採していたところ、奥に空き家が見つかった。利活用を模索する中、駅前の通りに宿泊施設がないことから民泊の開設を決めた。

「下灘住宅」をオープンした。山を背にした店舗の環境整備のため、敷地内の木を伐採していたところ、奥に空き家が見つかった。利活用を模索する中、駅前の通りに宿泊施設がないことから民泊の開設を決めた。

最大7人まで利用可能。1日1組限定で、料金は1泊2万5千円前後。営業許可を取って次策、受け付けを始める。下灘駅は近年、撮影スポットとして人気。外国人団体客も訪れる。夕焼けの名所として有名だが、朝焼けも違った魅力があるという。これまで駅前の通りには宿泊施設がなく、「JRを利用する人は特に時間を気にせず下灘を堪能できるのでは」(同)と期待。また同社は今後も空き家の利活用を推進し、地域活性化に寄与したい考えだ。

空き家利活用の発信に

建設業の(株)藤井組(伊予市大平、藤井祐一郎社長)は、下灘駅近くに民泊施設を開設する。徒歩1分の立地で、今年2月にオープンした土産店に併設。空き家を改修し整備した。観光スポットとして人気の下灘駅を堪能できる宿として打ち出す。同社は空き家の利活用を推進しており、再生事例として発信。雇用創出で地域振興にもつなげる。

太陽光発電・蓄電池で
スマイルパワー

電力コスト削減!!

株式会社 菅工務店: 新居浜本社 松山事業所

☎0800-200-8678

愛媛とフランスの架け橋に 探訪

地方創生などを目的に掲げ、女性の内面の美しさを競う「ミセスオブザイヤー」。今年5月に行われたフランス大会でグランプリに輝いたケリフ・アナイスさんが、7月上旬に愛媛を訪れた。



写真右がディアスさん、右から2番目がアナイスさん

フランス大会はチーフプロデューサーを務めるディアス由紀子さんが中心となり開催。ディアスさんは、フランスに7年間在住した経験があり、愛媛とフランスをつなぐ取り組みに尽力している。

アナイスさんは県内に滞在最終日に道後を散策。ミセスオブザイヤーの世界大会で準グランプリに輝いた青野律子さんとともに道後温泉本館や飛鳥乃湯泉などを訪れ、道後の文化に親しんだ。当日は「着物パフォーマンスで世界とつながる」をテーマに、旅館「茶玻璃」内にある「着物浴衣レンタルRin」で着付けてもらったアナイスさん。洋服のような斬新な着付けで、街歩きを楽しんでいた。アナイスさんは、道後での様子をフランスで発信していく考えという。ディアスさんは「アナイスさんはフランスで、愛媛の味噌や日本酒などを販売する際も手伝ってくれている。道後のインバウンドに寄与できる取り組みを進めたい」と意気込みを話す。



野律子さんと青野律子さんと

社長の★Birthday

- 栗原淳二さん(いよぎんリース株)、昭和44年7月21日
- 森本健一郎さん(株アイムビック)、昭和53年7月22日
- 平尾秀一郎さん(ひめぎんリース株)、昭和36年7月23日
- 稲見益輔さん(税理士法人中央会計松山オフィス)、昭和58年7月23日
- 西原孝太郎さん(第一印刷株)、昭和53年7月24日
- 日野健太郎さん(株えざき)、昭和55年7月24日
- 藤高亮さん(株藤高)、昭和58年7月25日
- 中村嘉寿史さん(株アイ・エス・ディー)、昭和49年7月26日
- 栗田雅則さん(株輝城)、昭和41年7月27日
- 野本大輔さん(株野本自動車部品)、昭和57年7月27日

2025年版会社年鑑より一部掲載

思わず行きたくなる! ひと うわさの女



雑貨屋マハリタ オーナー 下打 咲子さん



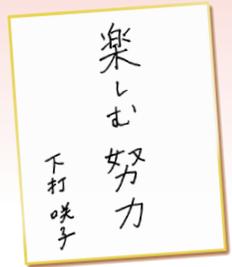
所在地: 大洲市大洲483 旧藤本医院内
 営業日: 土・日・月曜と祝日
 営業時間: 11時半~17時



大洲城の城下町にある「旧藤本医院」は、明治時代に建てられたレトロな洋風建築。長年空き家となっていたが、昨年7月に「古民家モール」に生まれ変わった。そこに入っている店の一つが雑貨屋マハリタだ。大洲市出身の下打さんは東京で会社員をしていたが、2018年の西日本豪雨で実家が被災したのをきっかけに帰郷。災害復興支援の仕事を2年間した

後、イベントなどでハンドメイドのアクセサリーの販売を始めた。ただ、大洲ではイベントがあまりなかったため、「ならば自分でやろう」とコミュニティ

ティー「水辺に咲く」を立ち上げ、今も活動を続けている。雑貨屋マハリタは週末を中心に営業。10人以上の作家が制作した文具や装飾品などさまざまな作品を販売している。もちろん、下打さんが作るビーズのアクセサリーもある。オーダーメイドも可能。「世界に一つしかないプレゼントをお探しの方はぜひご相談ください」。特技は水泳。29歳。



※当コーナーにご登場いただける女性を募集しています ☎ 089-947-1411 (うわさの女係)